

一関工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	法学	
科目基礎情報							
科目番号	0004			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	一般科目			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	早川吉尚「法学入門」有斐閣ストゥディア（２０１６）						
担当教員	鈴木 美南						
到達目標							
法学は、社会科学の一分野である。工学を専攻するうえで、法学を学ぶことに疑問を覚える学生もいるかもしれない。しかし、工学とは、数学と自然科学を基礎とし、ときには人文科学・社会科学の知見を用いて、公共の安全、健康、福祉のために有用な事物や快適な環境を構築することを目的とする学問である。したがって、法学を学ぶことは、社会科学の知見を広げることを意味し、工学の修得を助けることにつながる。よって、本講義の到達目標は、工学を専攻する学生に必要な十分な程度の法学の習得となる。							
【教育目標】B 【学習・教育到達目標】B－１・B－２							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	法学は、社会科学の一分野である。工学を専攻するうえで、法学を学ぶことに疑問を覚える学生もいるかもしれない。しかし、工学とは、数学と自然科学を基礎とし、ときには人文科学・社会科学の知見を用いて、公共の安全、健康、福祉のために有用な事物や快適な環境を構築することを目的とする学問である。したがって、法学を学ぶことは、社会科学の知見を広げることを意味し、工学の修得を助けることにつながる。						
授業の進め方・方法	教科書に基づきながら、授業を展開する。授業の進行は、ディスカッションなど、学生に意見を求める場合もある。						
注意点	本講義は、授業で学生に意見を求める場合があるため、その際は積極的な参加を求める。 【事前学習】配布資料を読んでおくこと。 【評価方法・評価基準】期末試験（60％）、課題（40％）で評価する。総合成績60点以上を単位修得とする。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	法学とはなにか（導入）			法律の概要を大まかに掴む	
		2週	法律はなぜ必要なのか（教科書第3章）			社会にあるルールをなぜ私たちは遵守する必要があるのかを学ぶ	
		3週	法律は全世界同じなのか（教科書第8章）			国際社会でも同様に遵守することが必要とされている法律。日本以外の国での扱われ方を知る。	
		4週	法律は全部書かれているのか（教科書第9章）			成文法と慣習法があり、すべての法律が明記されていないことを知る。	
		5週	法律の解釈とは（教科書第4章）			裁判例などを扱い、法律の解釈とはなにかについて学ぶ。	
		6週	論理的思考とは（レジュメ）			法学を習得するうえで必要な論理的思考を大まかに修得する。	
		7週	憲法（レジュメ）			工学を専攻するうえで関連する法律について学ぶ。	
		8週	民法①（レジュメ）			工学を専攻するうえで関連する法律について学ぶ。	
	2ndQ	9週	民法②（レジュメ）			工学を専攻するうえで関連する法律について学ぶ。	
		10週	刑法（レジュメ）			工学を専攻するうえで関連する法律について学ぶ。	
		11週	身近な問題を取り扱う①－1			これまでに習った事柄をもとに、応用する	
		12週	身近な問題を取り扱う①－2			これまでに習った事柄をもとに、応用する	
		13週	身近な問題を取り扱う②－1			これまでに習った事柄をもとに、応用する	
		14週	身近な問題を取り扱う②－2			これまでに習った事柄をもとに、応用する	
		15週	期末試験				
		16週	達成度の点検				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題					合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
総合評価	60	40	0	0	0	0	100
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0